

# 安全健康 経営白書 2024

---

オーエスジー株式会社

人事総務部総務グループ  
安全健康推進事務局

---

O  
S  
G



# CONTENTS

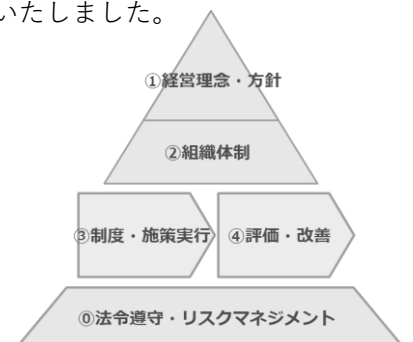
会社概要	2
オーエスジー経営基本方針	
トップメッセージ	
中期経営目標（2022-2024年）	3
オーエスジーグループのマテリアリティ	
安全健康経営の理念	
オーエスジー安全健康経営宣言	4
安全健康経営サポート体制	5
安全健康経営推進マネジメント体制	
全社安全衛生委員会構成	
安全健康の深化	6
安全健康推進教育体制	7
サプライチェーンやグループ会社に対する安全健康の取組	
ウェルビーイングを追求した安全と健康戦略マップ	8
安全活動 社員を守る活動	9
衛生活動 社員が元気になる活動	13
社会活動 社会貢献する活動	18
安全健康推進事務局だより2024	20
データベース	21

## 編集方針

オーエスジーは、2021年度から安全健康に関する詳細情報をステークホルダーの皆様にご提供することを目的に、5つの側面で「安全健康経営白書」を発行いたしました。

- ①経営理念・方針
- ②組織体制
- ③制度・施策実行
- ④評価・改善
- ⑤法令遵守・リスクマネジメント

オーエスジーは、労働安全衛生法に基づき安全衛生管理の体制を構築し、実施をしています。



## 会社概要（2023年11月30日現在）

会社名： オーエスジー株式会社  
本社： 〒442-8543 愛知県豊川市本野ヶ原三丁目22番地  
TEL：(0533) 82-1111 (代表)  
代表者： 代表取締役会長 石川 則男  
代表取締役社長 大沢 伸朗  
設立： 1938年3月26日  
資本金： 130億44百万円  
売上高： 連結 147,703 百万円 / 単独 55,362 百万円  
従業員： 連結 7,563 名 / 単独 1,900 名  
事業内容： 切削工具・転造工具・測定工具・工作機械・機械部品の製造販売、工具の輸入販売  
HP： <https://www.osg.co.jp/>

## オーエスジー経営基本方針

- 企業は社会の公器であることを常に自覚し、顧客に喜ばれる製品を提供します。
- 社員には、職場の適正配置と生活の向上を図ります。
- 株主には適正な安定配当を行うように努めます。
- 社会的な信頼を高めつつ堅実な経営を行い、世界的企業に発展するように努めます。

## トップメッセージ



オーエスジーは1938年設立以来、精密切削工具の製造・開発に取り組んで参りました。人々が便利さを感じ、経済面や環境面で安定して生活をしていくためには産業と技術の革新は欠かせません。一方で、近年は効率性や利便性の追求だけでなく、地球環境などにも配慮したサステナブルな社会づくりへの取り組みも大変重要な経営課題となってきています。

2022年1月、当社は2022年11月期を起点とする3か年の中期経営計画「Beyond the Limit 2024」を発表しました。「Beyond the Limit」という言葉には、「限界の向こうへ、限界を設けない、自らの殻を破る、常識を打破する」という決意を込めています。2030年11月期までを期間とする長期ビジョンにおいては、世界のモノづくり産業に貢献するエッセンシャル・プレーヤーとして、カーボンニュートラル時代に本格的に移行する2030年を見据え、いかなる変化にも対処しうる盤石な企業体質の構築を目指します。不確実性の多いこのVUCA\*時代だからこそ、更なる成長を目指していくために「地球会社」という企業理念のもと、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

\*VUCA:先行きが不透明で将来の予測が困難な状態

## 中期経営目標（2022-2024年）

中期経営計画「Beyond the Limit2024」戦略のもと、ひとりひとりのウェルビーイングを追求することにより、生産性を向上させ中期経営目標を達成します。

2024年11月期目標：ROA（営業利益ベース）15% 営業利益300億円

## オーエスジーグループのマテリアリティ（重点課題）

マテリアリティ	重点テーマ	取り組み
事業を通じたモノづくり産業への貢献	主力製品トップのグローバルシェア拡大	・高品質・高付加価値な製品シリーズのグローバル展開
	事業ポートフォリオの最適化	・微細精密加工向け市場の開拓
	新規事業・アフターサービス事業拡大	・再研磨・コーティング事業のグローバル展開
人財の尊重と活躍できる環境の整備	従業員エンゲージメントの向上	・働きやすい環境・制度の推進 ・安全健康経営の推進
	人財の能力向上と戦略的な人員配置	・次世代リーダー・経営リーダー育成 ・プロフェッショナル人財の活躍推進
	多様性の尊重	・女性・障がい者の活躍推進 ・人権の尊重
持続可能な地球環境への貢献	カーボンニュートラルの実現	・運用改善・省エネ機器導入 ・オンサイト・オフサイトPPAの導入/CO2フリー電力購入
	ユーザーの環境負荷低減	・環境に配慮した新製品の開発
持続的成長を実現するガバナンス体制の維持・強化	コーポレート・ガバナンス体制の確保	・業務執行の監督機能の強化 ・実効性の高い執行体制の構築
	グループ・ガバナンス体制の構築	・関係会社管理規程によるグループ・ガバナンスの強化
	リスク・コンプライアンス管理の徹底	・情報セキュリティ対策の強化 ・事業継続計画の策定と定期的な防災訓練の実施



オーエスジー公式キャラクター  
タップくん

### ▶安全健康経営の理念

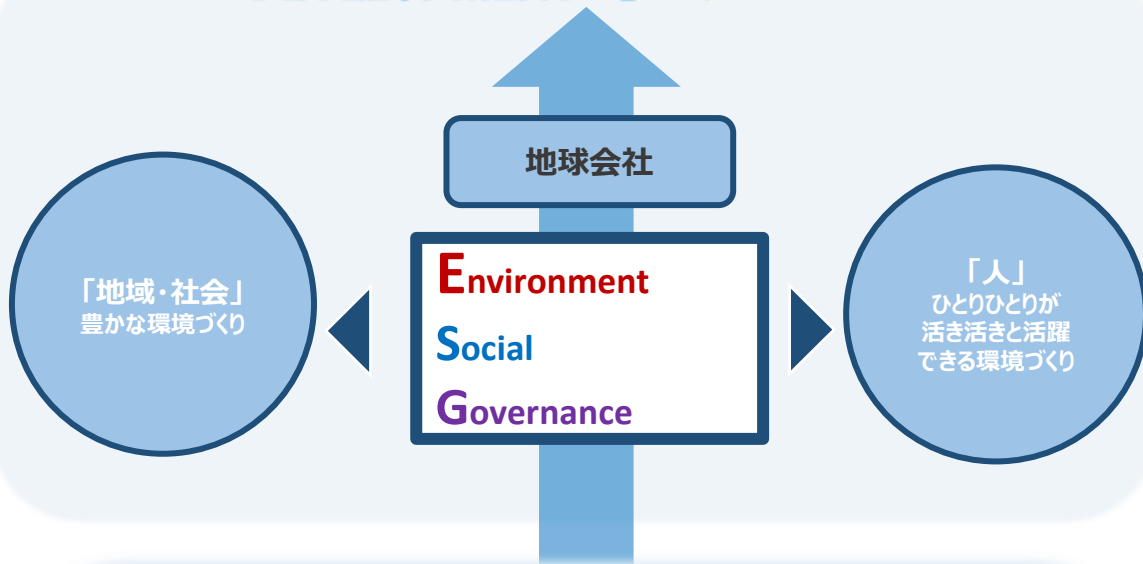
オーエスジーは、1996年「地球会社」「健康会社」「環境に優しい会社」を宣言し、2014年には「OSGブランド」の目指す姿を「shaping your dreams」（お客様の夢をカタチに）の言葉に託し、タグラインとしました。社員ひとりひとりが「明るく」「楽しく」「元気よく」日々仕事に取り組む環境づくり、そして、「企業は社会の公器である」を理念に、地域・社会・地球の持続的発展に貢献することが豊かな未来づくりと考えています。創立100周年にむけて、さらに強く輝く「地球会社」として、人づくり・モノづくりをとおり、人・社会・地球のウェルビーイングを追求し、夢をかたちにしていきます。

## ▶オーエスジー安全健康経営宣言

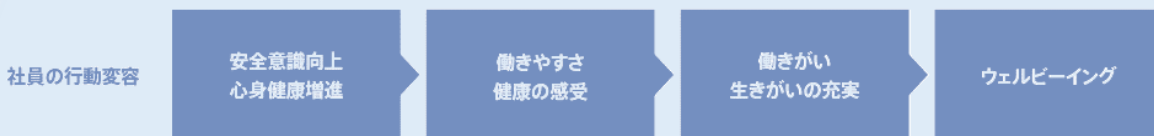
社員のウェルビーイングを追求し、社員本人・家族・お客様・地域・社会・地球の豊かな未来づくりに貢献します。

ひとりひとりすべての社員が生き活きと活躍できる職場環境づくり。  
その先には、きっと素晴らしい未来が広がると信じています。  
オーエスジーは、ひとりひとりをしっかりと後押しができる企業であり続けたいと考えています。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## オーエスジー安全健康経営



### 会社の取組

#### 安全 — 朝来た体で夕方帰る —

##### 安全体感研修



危険を体感し安全意識向上を促す

##### 役員パトロール



役員による職場環境パトロール

##### 交通立哨



社員・地域の交通安全を啓発する

##### 新入社員安全教育



安全の基礎を学ぶ

#### 健康 — 心身良好に活躍できる環境づくり —

##### 身近な健康相談窓口の設置



産業医・カウンセラー・ヘルススタッフ対応

##### 新型コロナウイルス感染症対応



安心な職場づくりのための職域接種

##### 健康な食事の提供



バランスのとれた食事提供

##### コミュニケーションの促進



社員・家族参加の福利厚生

## ▶安全健康経営サポート体制

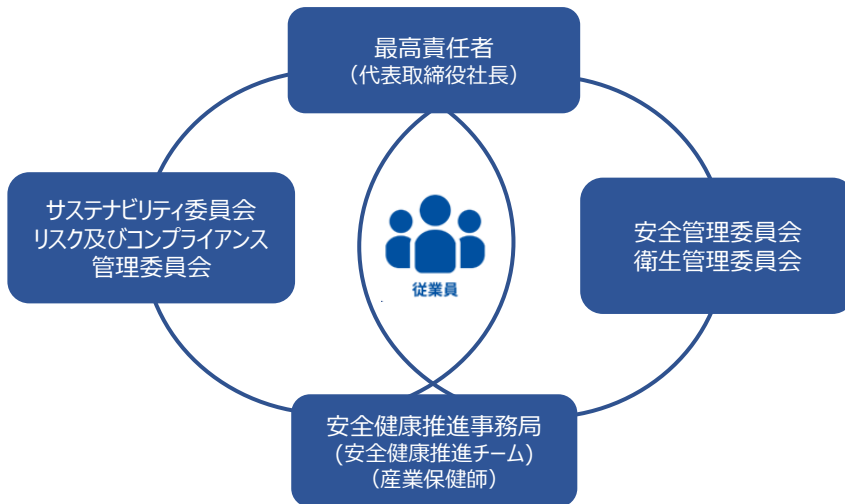
各事業所、社員の安全・健康のための活動をしています。

・産業医	2名 (外部)	・衛生管理者	13名
・産業カウンセラー	1名 (外部)	・安全管理者	7名
・保健師	3名	・安全健康推進事務局	5名



## ▶安全健康経営推進マネジメント体制

経営トップの安全健康経営に対する方針のもと、安全健康推進事務局と各事業所の安全・衛生事務局、職場、産業医などの専門スタッフ一体となり、活動を推進しています。また、外部機関とも協力し、活動に対する評価・効果の検証を実施しています。

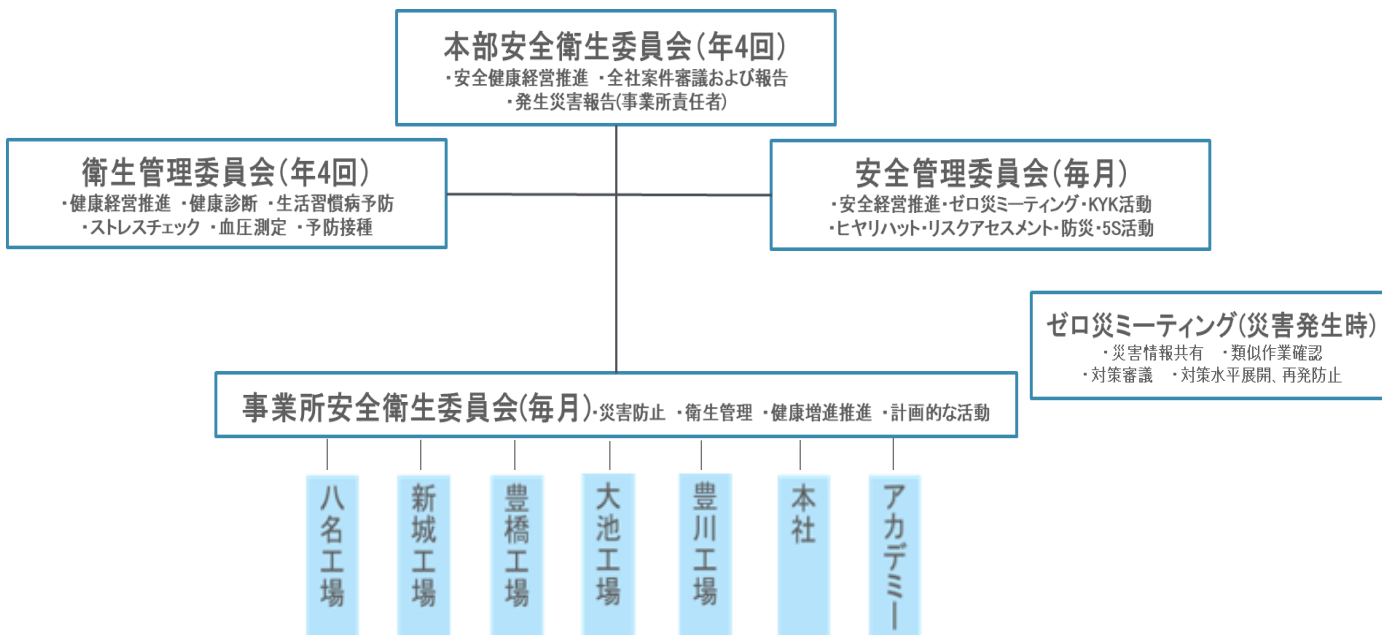


### <外部機関>

- ・全国健康保険協会
- ・医療機関
- ・保健センター
- ・労働基準協会
- ・労働基準監督署
- ・交通安全協会
- ・警察署
- ・消防署
- ・東三河安全衛生研究会

2023年9月現在

## ▶全社安全衛生委員会構成



## ▶安全健康の深化

長い歴史の中で培われた経験と知識に基づき、安全健康の取り組みを着々と進めています。

「地球会社」「健康会社」「環境にやさしい会社」  
を宣言

就業時間中の全面禁煙化



新型コロナウイルス感染症対策

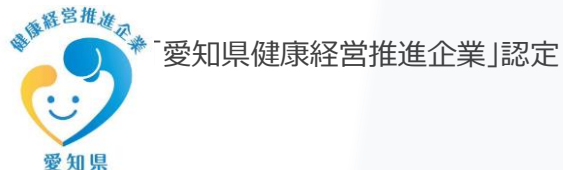
「オーエスジー安全健康経営」を宣言

「オーエスジー安全健康経営白書」発刊開始

「健康経営優良法人2023(ホワイト500)」認定



「健康経営優良法人2024(ホワイト500)」認定



1996年

2001年

2002年

2007年

2016年

2020年

2021年

2022年

2023年

2024年

安全リスクアセスメント活動開始

安全衛生全社員教育開始

ゼロ災ミーティング開始(災害発生時)

安全体感研修開始



愛知労働局「危なさに向き合おう」活動開始

「安全衛生優良企業」認定



「リスクアセスメント推進事業場」宣言

「安全経営あいち賛同事業場」登録



## ▶その他の認定と参画

健康寿命をのばそう  
SMART LIFE PROJECT

スマートライフプロジェクト  
厚生労働省・スポーツ庁  
食事、運動、けんしん、そして禁煙の  
4つの柱で「健やかな国ニッポン」を  
目指します。



人的資本経営コンソーシアム  
経済産業省  
人的資本経営の実践に関する先進  
事例の共有や企業間協力に向けた  
議論、情報の収集・発信と普及を行  
います。



SAFEコンソーシアム  
厚生労働省  
従業員の幸せのための安全アクションを  
推進する活動体です。

## ▶安全健康推進教育体制

	教育対象者	就業資格	終業時・就業中教育
作業者	一般業務従事者	→	雇入時、作業内容変更時教育
	危険・有害業務従事者	就業制限 → 免許試験・技能講習 特別教育 → その他危険有害 →	特別教育 特別教育に準じた教育
			定期または随時 危険再認識 高齢時
安全衛生に係る管理者	安全管理者	選任時研修等	能力向上教育
	衛生管理者		
	衛生推進者	養成講習	
	安全推進者		養成講習
	作業主任者	免許試験・技能講習	
	職長	→	職長教育
	作業指揮者	→	選任、指名時 教育
	荷役災害防止担当者		
	交通労働災害防止担当者		
	化学物質管理者	→	材料作業方法の変更時
健康保持増進スタッフ	→	スタッフ養成専門研修	
メンタルヘルス推進担当者	→	メンタルヘルス推進のための教育研修	
経営トップ	事業者	→	安全衛生セミナー等
	総括安全衛生管理者 管理職		

## ▶サプライチェーンやグループ会社に対する安全健康の取組

取引先に対してCSRヒアリングを実施し、法律の遵守および安全衛生の啓蒙を行っております。  
また、グループ会社を対象とした安全教育も実施し、安全・衛生に対する意見交換、サポートなども行っています。



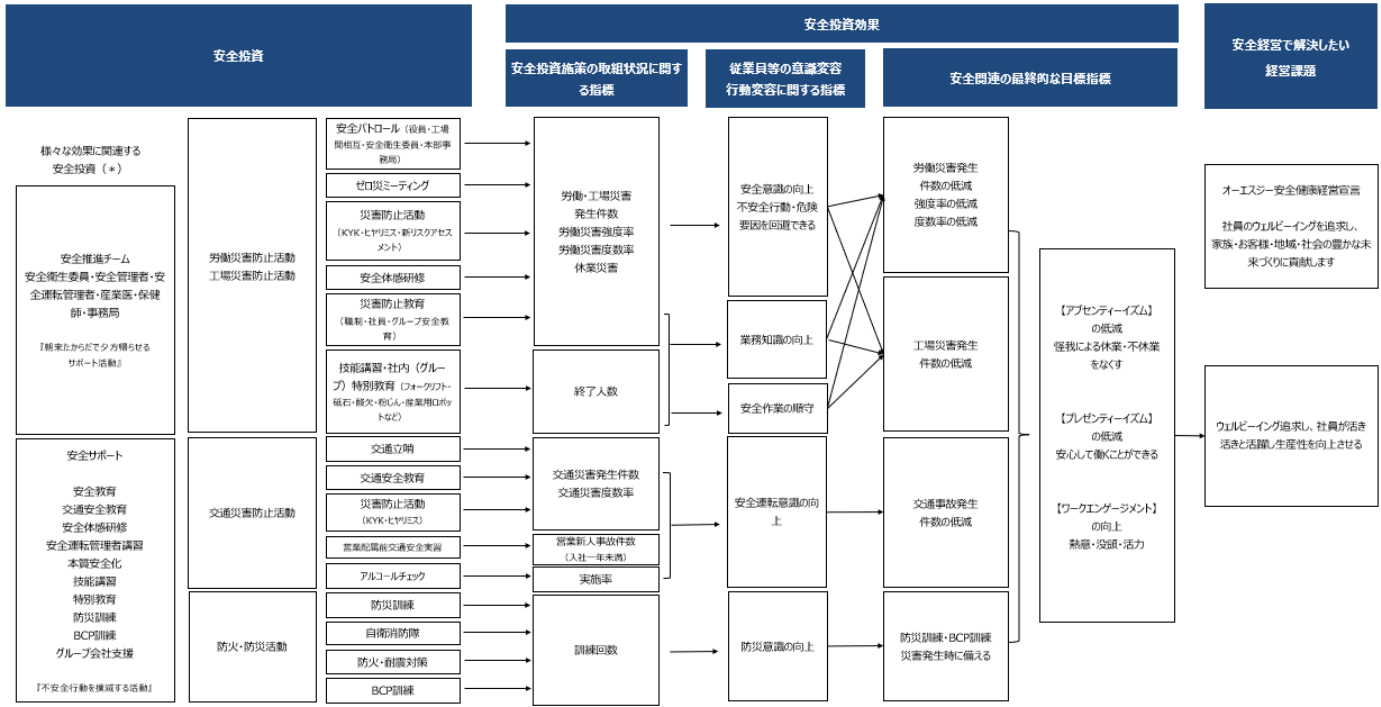
サプライチェーンに対する安全教育



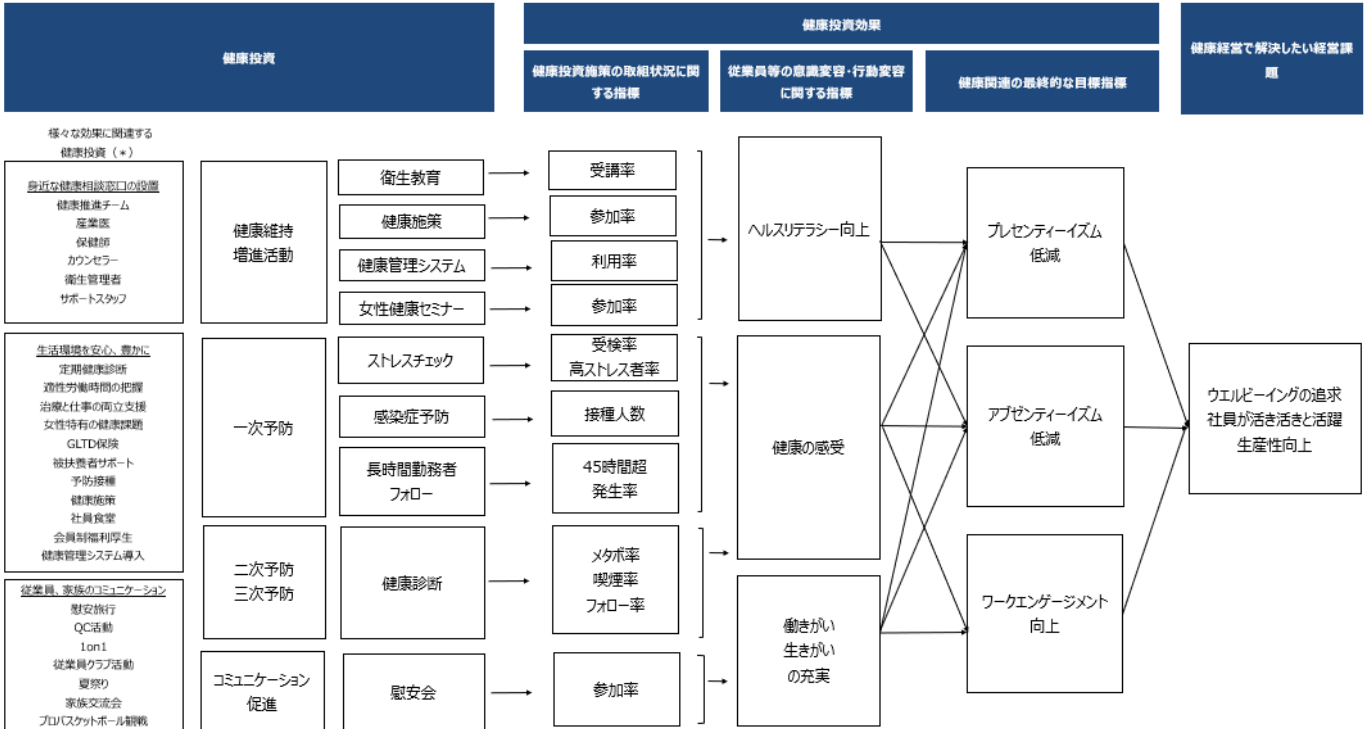
グループ会社に対する安全教育



## ▶安全戦略マップ



## ▶健康戦略マップ

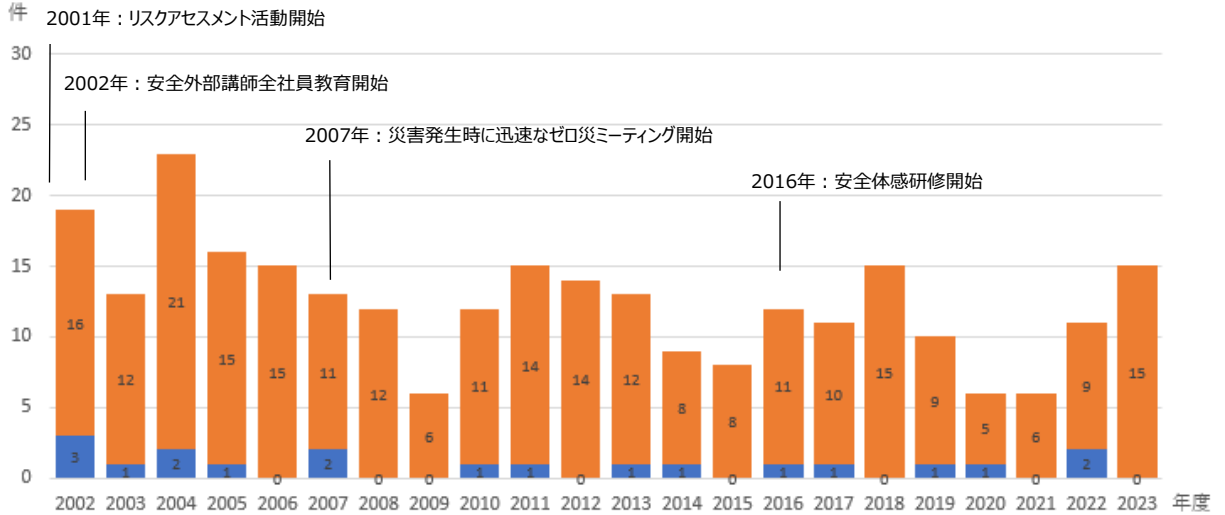




## ▶労働災害状況

### オーエスジー労働災害件数

■ 不休業災害 ■ 休業災害



## ▶腕カバーの義務化

社員安全のため、2019年より「腕カバー」の着用を義務化しています。その結果、切傷・裂傷災害件数が、2011年～2018年の平均値が5件に対し、2019年以降の平均値は2件となりました。



腕カバー着用

### 切傷・裂傷災害



切傷・裂傷災害経年グラフ



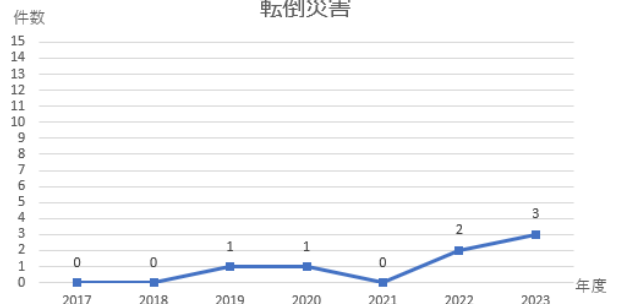
## ▶転倒・つまずき対策

平均年齢が高くなり、勤続年数が長くなるにつれ身体の衰えに気づかないことがあります。そのため転倒を起因とする災害はゼロにはなりません。転倒防止教育やハード的な対策を行っています。



つまずき転倒防止用バリアフリー化（八名工場）

### 転倒災害



転倒災害経年グラフ

## ▶ 安全教育

### ・管理監督者安全衛生教育

年に1度、管理監督者を対象とした安全教育を実施しています。  
2024年度は外部から講師を招き、2日間に分けて「化学物質管理セミナー」を実施しました。



### ・全社員安全教育

危険作業をあえて経験し安全意識を向上させることを目的に、全社員を対象とした安全体感研修を開始しました。自動化による危険予知能力の低下や、増加する若年層の経験不足を補います。



安全体感研修

### ・社内特別教育

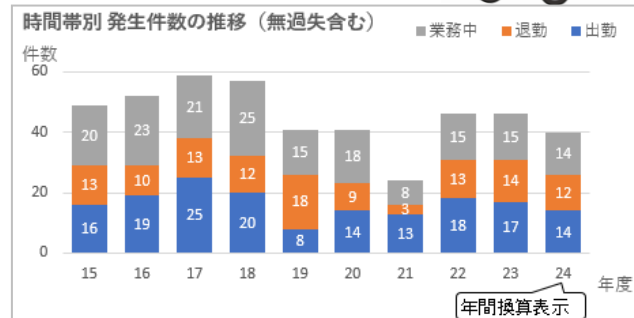
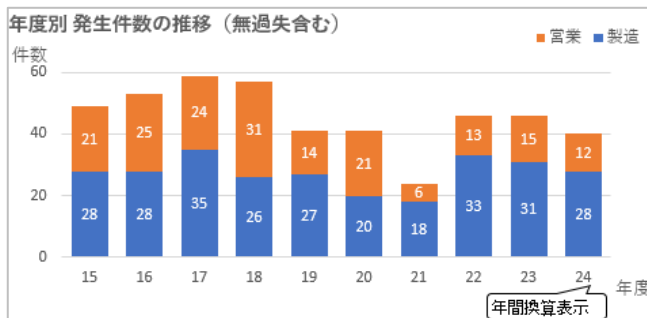
フォークリフト、砥石交換、酸素欠乏、粉じん、産業用ロボットの5つの教育を社内の特別教育として実施しています。



フォークリフト教育

### ・交通安全教育

交通災害 10年間の発生件数の推移 24年5月まで（24年度）



年3回の長期休暇前に、全社員を対象とした交通安全教育を実施しています。交通ビデオでの教育や、警察署から講師を招いての交通講話など教育内容も様々です。  
また、運転者にはアルコールチェッカーの記録管理や、営業社員向けの交通安全教育も実施するなど、会社全体で交通事故ゼロを目指します。

## ▶地震災害BCP（事業継続計画）

社員の安全、企業の存続を考え、トップマネジメントのもと地震災害におけるBCPを策定し、訓練を実施しています。

### 想定地震モデル

南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで規模の大きいもの(宝永・安政東海・安政南海・昭和東南海・昭和南海の5地震)を重ね合わせた過去地震最大モデルとしています。

### 想定BCP資料（一部）

#### 各事業所被災想定

	事業所名	八名	新城	豊橋	大池	豊川	本宮	DC	本社	本野ヶ原
	所在地	<a href="#">新城市 富岡</a>	<a href="#">新城市 有海</a>	<a href="#">豊橋市 賀茂町</a>	<a href="#">豊川市 一宮町</a>	<a href="#">豊川市 白雲町</a>	<a href="#">豊川市 上長山町</a>	<a href="#">豊川市 一宮町</a>	<a href="#">豊川市 本野ヶ原</a>	<a href="#">豊川市 本野ヶ原</a>
予測震度		6弱	6強	6強	6強	6強	6強	6強	6強	6強
ハザードマップ	地形	砂礫質台地	砂礫質台地	砂礫質台地	砂礫質台地	中位面	砂礫質台地	砂礫質台地	砂礫質台地	砂礫質台地
	液状化の可能性	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い	非常に低い
	表層地盤増幅率	0.87	1.09	0.91	0.99	1.12	0.84	0.99	1.12	1.12
	揺れやすさ	揺れにくい	揺れにくい	揺れにくい	揺れにくい	やや揺れにくい	揺れにくい	揺れにくい	やや揺れにくい	やや揺れにくい
	津波	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし	影響なし
ライフライン復旧期間	電力	1日～4日 ▽電力会社からの電力供給ストップ								
	上水道	7日～30日 ▽水道局からの給水ストップ								
	下水道	7日～21日 ▽水道局からの給水ストップ								
	ガス	3日～7日 ▽安全点検後使用可能								
	通信/固定/携帯	1日～4日 ▽回線不通により通話不能								
	道路	3日～10日 ▽道路閉鎖又は交通規制等で大規模な交通渋滞								
	鉄道	7日～30日 ▽鉄道は被害をうけ運休・一部限定運転								

注)表層地盤増幅率：1.5以下→揺れにくい、1.5超え→要注意、2.0以上→強い揺れ



BCP訓練

## ▶愛知労働局 安全経営あいち賛同事業場登録

愛知労働局より、「安全経営あいち®」の普及促進に賛同し、「安全経営」に取り組む姿勢と、その基礎となるリスクアセスメントに積極的に取り組む姿勢を示すことを目的としているものです。各事業所で登録が認定となり、賛同事業場登録証が発行されました。

グループ・リスクアセスメント表

事業所名	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所
1. リスク評価結果	1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0
2. リスク評価結果	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	3.0
3. 危険源特定	3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.9	4.0

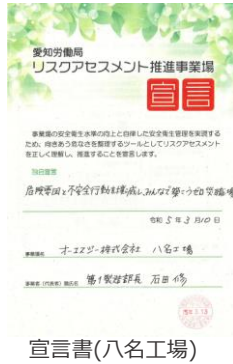


認定式



登録証(八名工場)

## ▶愛知労働局 リスクアセスメント推進事業場宣言



愛知労働局より、リスクアセスメントを通じて、危なさを総合的に評価し自主的に改善を行う事業場であることを宣言することで、安全衛生管理水準の向上を図ることを目的としているものです。

各事業所でも自立した安全衛生管理を推進する代表者の決意を宣言しました。



## ▶全社防災訓練

有事の際、自ら行動できることを目指し防災訓練を実施しています。また、担当班に分かれて「防災テント」「防災トイレ」の設置訓練も同時に実施しています。命を守るため迅速に防災組織を立ち上げ、サポートができる体制づくりをしています。



防災訓練の様子



防災テント設置



防災トイレ設置



消防班



救護班

## ▶防災倉庫

各事業所に設置している防災倉庫。有事の際、即時対応出来る様定期的に防災備品の見直しをしています。



防災倉庫





▶「OSG健康ミッション25」の取り組み

2022年より「OSG健康ミッション25」と題して、定期健康診断のデータを参考に「メタボリックシンドローム(予備群含む)率」「喫煙率」共に、25%まで減らすことを目標としています。各事業所でさまざまな健康施策を立案し、施策を実施しています。

各事業所の健康施策

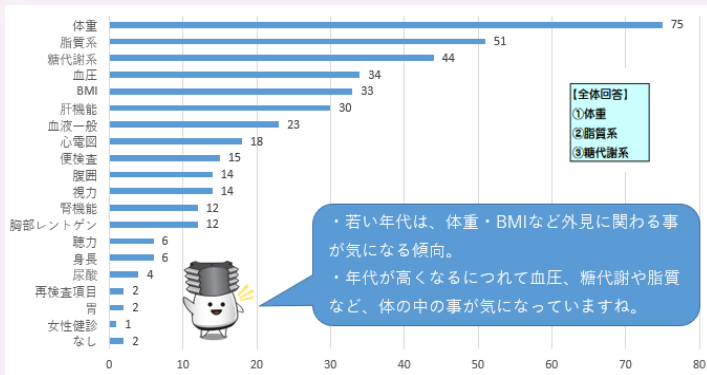
禁煙グッズ配布 (八名工場)



お試しイベントとして、ニコチンレスの紙・電子タバコ、ニコチンガム、禁煙飴などの禁煙グッズを配布しました。

健康意識アンケート (八名工場)

「健康診断の結果」「心と身体の健康」「健康維持促進方法」の3項目を中心に、アンケートで意識調査を実施しました。



ハイキング (豊橋工場)

豊橋工場のみならず、他工場からの参加もあり、みんなで楽しく健康づくりを行っています。



景色や自然を満喫しながらのリフレッシュ効果や、皆でワイワイと楽しく歩く事を目的に、定期的にハイキングを開催しています。



ウォーキング (豊川工場)



5月～7月は体カづくり運動として「佐奈川ウォーキング」を実施しました。

ウォーキングアプリ (豊川工場)

日々の歩数記録や健康目標の管理ができるスマートフォンアプリを利用しています。歩数ランキングコンテストも開催し、さらに健康増進していきます。



健幸マイルージ参加 (本社)



保健センター主催の企画で、自身で取り組む健康目標を立ててポイントを貯め、豪華賞品獲得を目指します。健幸づくりを継続的に実践する働きかけをしています。

ラジオ体操 (本社)



10月の1か月間、昼休み時間を利用してラジオ体操を実施しました。イベント日には公園にて、爽やかな風を感じながらみんなでラジオ体操を行いました。

ミニヘルスチェック(本社)

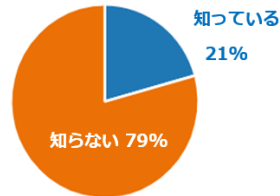


血圧測定、ロコモ診断、握力測定、棒反応など簡単なヘルスチェックを実施しました。



喫煙アンケート (大池工場)

【2024 喫煙・受動喫煙に関するアンケート】



喫煙・受動喫煙に関するアンケートを実施し、三次喫煙の認知度が低いことが分かりました。引き続き健康被害による啓蒙活動を行っています。

喫煙後も約45分間は体内から有害物質が出続けていることを知っていますか？



健康情報 (大池工場)

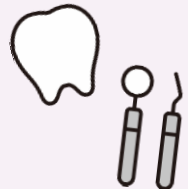


「健幸寄せ書き」として健幸に関する個人目標を表明してもらいました。その中で関心の多いテーマに焦点を当て、わかりやすく情報提供をしています。

歩行姿勢測定システム (新城工場)

「速度年齢」「姿勢年齢」「バランス年齢」から構成される億歩歩行年齢を算出。全体の64%の方が実年齢以上と診断、特に歩行速度が遅い結果となりました。

ロコモ診断(新城工場)



禁煙促進(アカデミー)

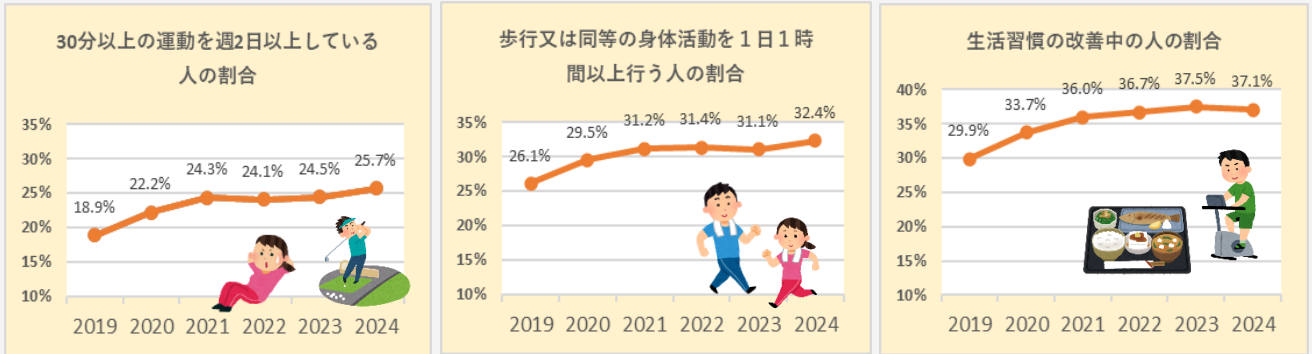
メタボや喫煙のリスク、腰痛改善や歯の健康など、朝礼やアプリによる投稿で情報を共有しています。



片足で椅子から立ち上がることができると、ロコモ診断を実施。

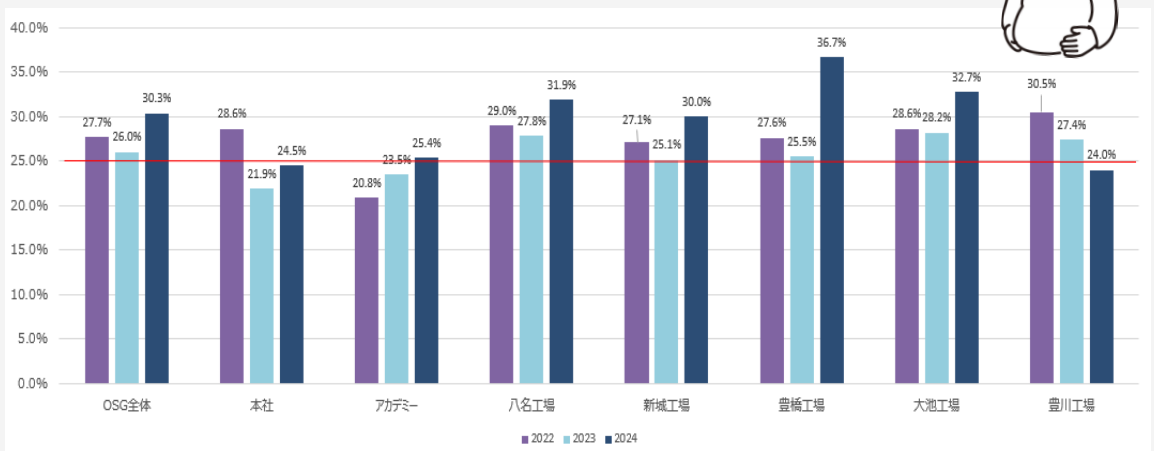
## ・結果

目標の25%に至らない結果となりましたが、社員から“健康ワード”を聞く機会が増え、徐々に健康意識の向上が見られてきました。また、運動習慣のある人や、生活習慣を改善中の人の割合が年々増加傾向にあります。今後も会社全体を通して健康ミッション25の活動を継続し、メタボリックシンドローム比率、喫煙率共に25%を目指します。

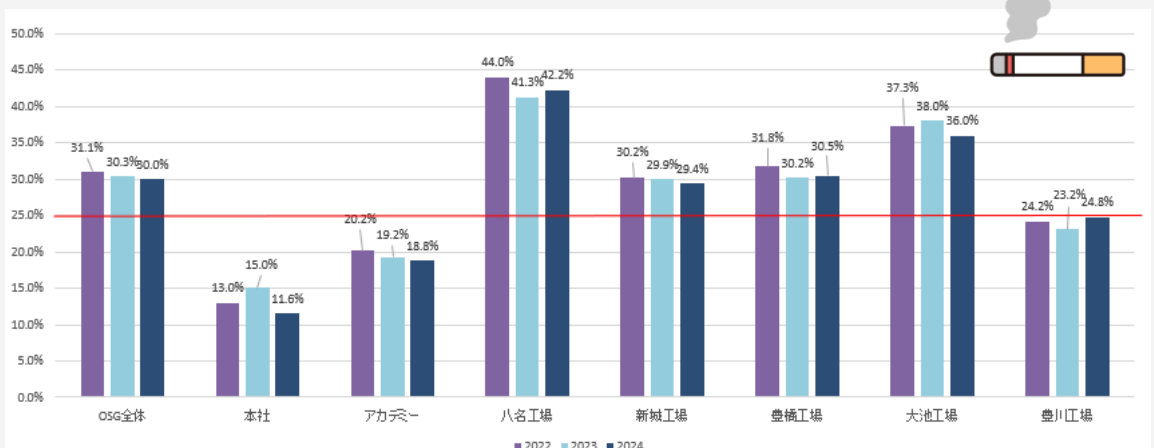


## ・【OSG健康ミッション25】 2022年～2024年 事業所別グラフ

メタボリックシンドローム率(予備群+該当者)



喫煙率





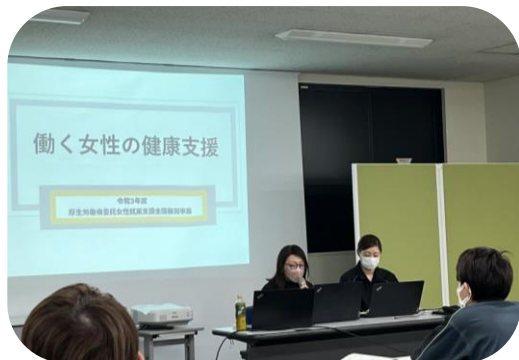
## ▶ 全社衛生教育

年に1回、全社員を対象とした衛生教育を実施。保健師による教育資料をもとに衛生について学びます。



## ▶ 女性健康セミナー

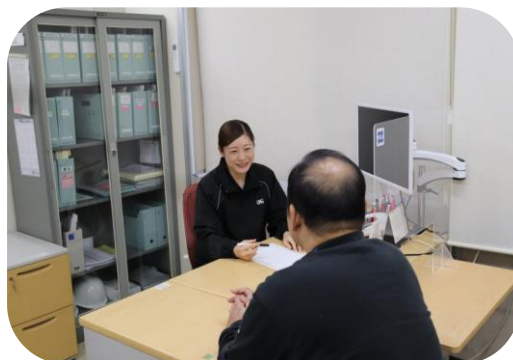
職長教育の中に、保健師による「女性健康セミナー」を実施。女性特有の健康課題や、働きやすい環境づくりについて学びます。



職長教育

## ▶ 治療と仕事の両立支援

従業員の気持ちに配慮し、柔軟な働き方ができるよう会社方針を定め、取り組んでいます。



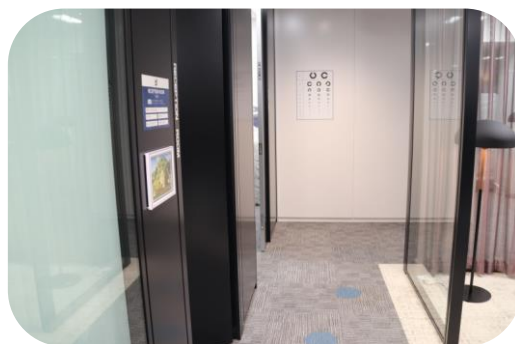
面談の様子

## ▶ 営業所の健康意識

営業所のオフィス内にも健康意識を向上させる取り組みをしています。リラックスメームにバランスボール・リクライニングチェアの設置や、健康にいいとされる歩幅をマットに印すなど自然と健康意識を高めます。



リラックスメーム



歩幅マットと視力検査



## ▶ 社員・家族のコミュニケーションの促進

社員や家族の交流を深めるきっかけづくりとして、様々なイベントを開催しています。生きがいや働きがいを充実させ、ワークエンゲイジメントの向上を目指します。



プロバスケットボール試合観戦



家族工場見学会



慰安会



## 食のおいしさ

温かいものは温かく。冷たいものは冷たく提供。各事業所にて、目の前で作るライブ調理も行っています。



ライブ調理の様子

喫食例

## 生まれるコミュニケーション

「楽しく食事ができれば、自然と笑顔とコミュニケーションが生まれる。」というコンセプトのもと、居心地よく、食事時間外もミーティングやオフィススペースとして利用できるようにしています。



zero-oneカフェテリア（新城工場）

## 健康的な食事

野菜多めのメニューを提供しています。

カロリー表示

MENU LINEUP		2/19 ~ 2/23		
		2月19日 月	2月20日 火	2月21日 水
LUNCH A		豚の生姜炒め	鶏込みハンバーグ	豚肉と塩野菜の旨味丼
ランチ A		総工本598 kcal	総工本634 kcal	総工本502 kcal
LUNCH B		白身魚の電田揚げ レモン添え	焼き豆腐 中華あんかけ	チキンカレー
ランチ B		総工本501 kcal	総工本597 kcal	総工本811 kcal
		きのこのパン・ネアヒアーク	五目豆腐	メンチかつ

メニュー表

メニューだけでなく、調味料にもカロリー表示を行うことで、健康意識を向上させます。



## わくわく感



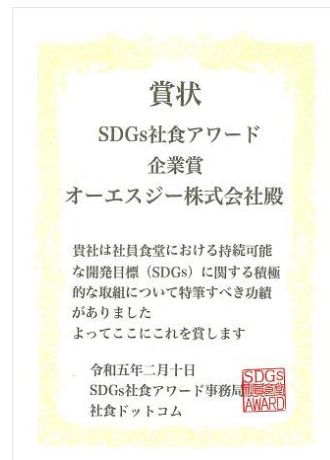
イベントメニュー例

給食スタッフも楽しみながらメニューづくりに協力。時には有名店の食事やイベントメニューも実施し、社員の笑顔づくりに貢献しています。

## ▶社食アワード

社員食堂のサステナビリティに対する取り組みが認められ、「SDGs社食アワード 企業賞」を受賞しました。SDGs社食アワードは社員食堂におけるサービス、イベントなどによるSDGsの取り組みを表彰するもので、1年間に5回以上SDGsの取り組みを行うなど、一定の基準をクリアした社員食堂を対象に審査されます。

OSGIは、環境に配慮した「ブルーシーフード」の採用、食品ロス削減のための活動、社員の健康を考えた野菜を多く、塩分を減らした健康的な食事の提供など社員食堂を通じ、誰もが幸せ、笑顔になる活動が評価されました。



SDGs社食アワード企業賞



減塩「しおへらメニュー」

# 社会活動 —社会貢献する活動—

## ▶EV車導入

社有車11台をEV車へ変更し、4事業所にEV充電スタンドを設置しました。省エネ・省資源対策でカーボンニュートラルな製品と生産体制を目指します。



EV車



EVスタンド

## ▶オーエスジードリームコート

地域貢献の一貫として、豊川市庭球場のネーミングライツを取得し、「オーエスジードリームコート」としてオープンしました。元プロテニスプレイヤーの杉山愛さんがイベントのゲストで来場されるなど、幅広い世代と分野で使用されています。



オーエスジードリームコート



杉山愛さんとオーエスジー硬式テニス部

## ▶東三河安全交流会

JAM東海(労働組合)主催の東三河安全交流会に労使で参加しました。安心、安全は労使共通の永遠テーマです。他社と意見交換をしながら交流することで、情報収集や今後の課題を見つける機会となりました。



交流会終了後の集合写真



交流会の様子

## ▶豊川市主催とよかわ健幸マイレージ賛助

豊川市が主催する「とよかわ健幸マイレージ」に賛助し、市民の健康を応援しています。



とよかわ健幸マイレージ案内用紙



協賛品のワイヤレスイヤホンとウェブカメラセット

## ▶スポーツイベントへの賛助

地域で行われる様々なスポーツイベントに賛助しています。多くの社員も参加しています。



出典元：豊川市役所教育委員会スポーツ課  
豊川シティマラソン

## ▶健康優良企業法人との交流

健康優良法人を目指す企業へ訪問し、情報共有や、比較をすることで、日々健康に対する課題を見つけています。



交流の様子



## ▶献血活動

年2回、日本赤十字社の献血バスが来社。多くの社員が献血活動に協力しています。



献血受付

## ▶普通救命講習

年4回、消防署から講師を招き、職制や職場推薦された社員が普通救命について学びます。



講習の様子

## ▶交通安全活動

毎月一回、交通安全活動を実施し、地元の安心、事故抑制に役立っています。



交通立哨

## ▶5S活動

社員全員が5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を習慣付けています。会社の周辺、社内や身の回りの5S活動を定期的に行います。



本社周辺清掃

## ▶緑のカーテン設置

豊橋工場にてゴーヤの栽培をしています。緑のカーテンは工場内の温度が下がり、省エネ効果があります。収穫したゴーヤは社員の食卓へ。



豊橋工場緑のカーテン(ゴーヤ)

## ▶学生の実習受け入れ

豊橋創造大学看護学生の産業保健実習の受け入れをしています。



実習の様子

## ▶スポーツ施設による健康づくり

室内プールやジムを備えた社内施設「ユーカリ倶楽部」を活用しています。また、毎週ヨガ教室も実施しています。



ユーカリ倶楽部（室内プール）

## ～ 安全健康経営の歩みとこれからの展望 ～

当社では、2022年から安全健康経営白書を発刊し、今年で3年目を迎えました。これまでの取り組みを白書という形でまとめることで、過去の活動を振り返りつつ、今後も社員の安全と健康を守り、向上させることを目指しています。これまでの実績を形にすることで、先輩たちの努力を誇りに思うと同時に、新たな挑戦を考えるきっかけとなっています。

最近の急速な社会環境の変化に伴い、働く場や健康管理の在り方も大きく変わりつつあります。その中で、社員一人ひとりの安全と健康を守るためには、ただ「目標」を掲げるだけでなく、毎日の「手段」として安全と健康を意識し続けることが大切です。これまで取り組んできた健康診断や職場の安全管理だけでなく、メンタルヘルスケアや社員のウェルビーイング（Well-being）向上にも力を入れ、総合的な施策を進めています。

社員の中でも、安全健康経営が徐々に浸透し、意識の変化が見られるようになりました。例えば、健康診断の結果を受け取るだけでなく、自己の健康状態を見つめ直し、生活習慣の改善やメンタルケアに自発的に取り組む社員が増えてきています。これらの意識の変化は、会社全体での取り組みが確実に成果を上げている証でもあり、社員全員が安全健康経営の理念を日常で実践できる環境づくりを目指しています。

しかし、このような取り組みは短期間で成果が見えるものではありません。安全健康経営は長期的な視点で進めるべき取り組みであり、継続的な努力が求められます。特に、社員が自身の安全と健康を「自分ごと」として捉え、実際に行動に移すためには、時間をかけた浸透が必要となります。課題は多いものの、目標達成を急ぐのではなく、日々の取り組みを地道に続けていくことが、最終的な成功につながると考えています。

今後も、私たちは安全健康経営のさらなる発展を目指し、社員全体のウェルビーイング向上を積極的にサポートしていきます。そのためには、全社的な取り組みと共に、社員ひとりひとりが自分の安全と健康に責任を持ち、自ら行動していくことが大切です。私たちはその意識を引き続き醸成しながら、安全で健康な職場環境を目指して歩み続けます。そして、安全と健康が企業の持続可能な成長を支える基盤であることを、私たちは心からそう信じています。

安全健康推進事務局



親子工場見学



保健師・看護師受入れ実習



安全健康推進事務局

オーエスジー安全健康白書に関するお問い合わせ  
人事総務部 安全健康推進事務局  
Tel 0533-82-1140

組織	2020	2021	2022	2023
従業員数	2,121人	2,204人	2,219人	2175人
平均年齢	42.3歳	42.5歳	43.1歳	43.6歳
平均勤続年数	18.6年	18.8年	19.3年	19.7年
離職率	2.4%	1.8%	2.7%	3.9%

労働	2020	2021	2022	2023
総実労働時間(月平均)	153.8時間	160.6時間	162.1時間	157.6時間
所定外労働時間(月平均)	6.4時間	15.5時間	18.9時間	14.0時間
法定外労働45時間超発生率	1.4%	8.7%	7.8%	9.5%
有給休暇取得率(年間)	52.4%	58.9%	63.5%	68.1%
有給休暇取得日数(年間平均)	10.3日	11.7日	12.2日	13.0日

健康診断	2020	2021	2022	2023
定期健康診断の受診率	99.8%	99.8%	100%	100%
精密検査の受診率	17.2%	31.0%	31.4%	50.9%
有所見者率	49.3%	49.0%	49.7%	51.0%
保健指導実施率	100%	100%	81.7%	91.0%

生活習慣	2020	2021	2022	2023
20歳から体重が10kg以上増加している人の割合	33.7%	32.4%	32.2%	33.3%
朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合	15.8%	16.1%	16.6%	17.4%
就寝2時間以内に夕食をとることが週3回以上ある人の割合	17.2%	17.7%	17.8%	18.4%
朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を接種する人の割合	16.3%	17.1%	17.7%	18.4%
30分以上の運動を週2日以上している人の割合	22.2%	24.3%	24.1%	24.5%
歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上行う人の割合	29.5%	31.2%	31.4%	31.1%
睡眠で休養が十分とれている人の割合	52.3%	48.5%	50.0%	50.2%
生活習慣の改善中の人の割合	33.7%	36.0%	36.7%	37.5%
従業員のヘルスリテラシー	-	-	3.26	3.49
メタボリックシンドローム比率(予備群含む)	27.8%	27.9%	27.7%	26.0%
血圧治療者率	10.3%	11.0%	11.9%	12.3%
血糖治療者率	3.9%	3.9%	4.1%	4.3%
脂質治療者率	7.3%	7.5%	7.9%	8.7%
高血圧者のうち治療中	183人	195人	217人	225人
疾病による休職者発生率(年間)	0.06%	0.43%	0.27%	0.60%
適正体重者率(40歳以上)	66.8%	65.4%	66.5%	66.6%
喫煙率(40歳以上)	32.8%	32.8%	31.0%	30.3%
運動習慣者比率(40歳以上)	23.0%	23.4%	23.3%	24.2%
適正睡眠者比率(40歳以上)	50.0%	44.5%	45.4%	47.7%
飲酒習慣者率(40歳以上)	12.6%	12.2%	10.3%	11.8%
血圧リスク者率(40歳以上)	0.7%	0.7%	1.2%	0.9%
血糖リスク者率(40歳以上)	0.4%	0.0%	0.4%	0.1%
糖尿病管理不良者率(40歳以上)	1.3%	0.8%	1.2%	1.4%

労働災害	2020	2021	2022	2023	
労働災害率	度数率	0.298%	0.000%	0.554%	0.000%
	千人率	0.538%	0.000%	1.063%	0.000%
	強度率	0.00358%	0.00000%	0.01635%	0.00000%
労働災害により損失した労働時間		48時間	48時間	88時間	120時間

安全	2020	2021	2022	2023
安全体感研修の参加者数	－	80人	200人	260人
管理監督者安全教育の参加者数	－	68人	70人	324人
社内特別教育の参加者数	111人	88人	307人	294人

衛生	2020	2021	2022	2023
衛生教育受講率	－	－	96.7%	100.0%
健康施策参加率	－	－	－	28.0%
健康施策参加への満足度	－	－	97.7%	92.0%
女性教育参加率	－	－	82.3%	100.0%
職場慰安旅行参加率	中止	中止	中止	66.8%
慰安旅行補助金額	－	－	－	1143万円
予防接種人数	1725人	1436人	1290人	1289人

メンタルヘルス	2020	2021	2022	2023
ストレスチェック受検率	96.7%	94.6%	81.9%	93.0%
高ストレス者率	11.6%	13.4%	11.6%	11.8%
仕事の量的負担の平均得点	8.19点	8.3点	8.5点	8.3点
仕事のコントロールの平均得点	8.41点	8.5点	8.5点	8.5点
上司の支援の平均得点	7.92点	8.0点	8.2点	8.2点
同僚の支援の平均得点	8.1点	8.1点	8.1点	8.2点

パフォーマンス指標		2021	2022	2023	2024
プレゼンティーズム		－	86.3	80.9	80.4
アブセンティーズム		0.75	1.22	1.08	－
エンゲイジメント	活力	－	3.08	3.01	2.69
	熱意	－	3.58	3.50	3.35
	没頭	－	3.10	3.13	2.93
	平均	－	3.25	3.21	2.99
測定人数	プレゼンティーズム	－	573人	454人	1460人
	アブセンティーズム	2112人	2122人	2085人	－
	エンゲイジメント	－	573人	454人	1460人
回答率	プレゼンティーズム	－	25.8%	20.8%	71.7%
	アブセンティーズム	－	100%	100%	－
	エンゲイジメント	－	25.8%	20.8%	71.7%

<測定方法>

プレゼンティーズム：東大1項目版 / アブセンティーズム：欠勤・休職平均日数 / エンゲイジメント：UWES尺度